

TOMO
DACHI



WALLY YONAMINE
FOUNDATION



Ray of Hope Project



戸沢暢美財団

小学館
SHOGAKUKAN

VERITAS



吉田美里と愉快的仲間たち

港区少年軟式野球連盟

J:COM

開催日：2016年7月29日(金)～2016年8月1日(月)

参加者：気仙沼・南三陸地区の少年野球チーム19名

港区軟式少年野球チーム22名

主催：特定非営利活動法人ハズオン東京、

米国大使館(7月29日のみ)

特別協力：Major League Baseball

協力：MSR smile project、公益財団法人野球殿堂博物館、

港区少年軟式野球連盟、株式会社ジェイコム港新宿

協賛：米日カウンスル、戸沢暢美財団、与那嶺財団、

株式会社小学館、Yamasaki Family、株式会社フロンティア

インターナショナル、吉田美里と愉快的仲間たち



東日本大震災から5年が経過しましたが、被災地では災害公営住宅入居や高台移転が遅れており、東北沿岸部にある多くの小中学校の校庭には仮設住宅が建設されたままです。そのため、いまなお、生徒たちは校庭での体育の授業やクラブ活動ができない状態です。

このプロジェクトは、そのような東北復興の現状をふまえ、東北被災地の球児を東京に招待し、合宿を企画することにより、仮設住宅がなくなるまでの間、子供たちの貴重な思い出づくりを応援したいという思いからスタートしました。

また、震災の風化を防ぐため、いつ起こるかわからない震災に備えるために、若い世代に語り継ぐ機会を設け、防災への意識向上、行動を起こしていくことができるリーダーシップの育成なども目標とし、22名の港区の野球少年たちとともに行いました。両チームの交流試合、ボランティア活動、東北のプレゼンテーションを通して、一緒に考える機会を設けることができました。

【参加した子どもたちから】

一番思い出に残ったのは港区の中学生との交流試合です。楽しく野球をして交流できたので良かった。私たちは誰かに支えられているんだと気づいたし、誰かとつながりを持つことが大事だと気づきました。

1日目／7月29日：アメリカ大使館にて海兵隊ボランティアによるブートキャンプ、MLBによる野球練習(コーチ：元プロ野球選手川崎憲次郎氏)



2日目／7月30日：MLB野球教室(コーチ：元MLB選手高橋尚成氏)、港区軟式チームとの交流試合

3日目／7月31日：ボランティア活動、ジャイアンツ練習見学、ジャイアンツVSスワローズ試合観戦(東京ドーム)

4日目／8月1日：港区軟式チームとの交流試合